

Title	現代中国の航空交通管制と安全保障：その空軍力建設と軍民関係の一側面に関する研究
Sub Title	China's air traffic control and the security policy
Author	安田, 淳(Yasuda, Jun)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>前年度に引き続き、最近の中国の航空交通管制や「防空識別区」に関する資料・情報等を継続的かつ広範囲に収集し分類整理した。とりわけ、中国側によって台湾海峡上空に設置され2018年から本格的に運用が開始された新航空路M503と、これに対する台湾側の反応に関する情報の収集に努めた。また、航空機の運航管理や航空交通管制の関係者の知見や意見を聴取した。さらに、カリフォルニア大学やスタンフォード大学において、現代中国の軍事・安全保障関連資料を収集した。これらの成果を元に、台湾海峡上空の新航空路がもたらす中台間の現状変更に関して、下記論稿を執筆して発表し、中国が軍事安全保障だけでない領域でも、自国の国益を追求してさらに現状変更を進めていることを明らかにした。こうしたことによって、本研究3年計画の最終年度における研究の総括の準備を推進することができた。</p> <p>Continuous research for this subject as below:</p> <ul style="list-style-type: none">・ Collecting books, articles, information and data on Chinese civil aviation, air traffic control, aeronautical rules and laws and technology.・ Collecting the press reports, documents and information on the international aiway M503 over the Taiwan Strait which became political and military issues between China and Taiwan in 2018.・ Interviewing with the persons concerned about air traffic control and aircraft operation.・ Publishing a thesis "A Change of the Current Situation beweein China and Taiwan: Airway M503 over Taiwan Strait", 'Hogaku Kenkyu', Vol.92 No.1, January 2019.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180057

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	安田 淳	氏名 (英語)	Jun YASUDA		
研究課題 (日本語)						
現代中国の航空交通管制と安全保障—その空軍力建設と軍民関係の一側面に関する研究						
研究課題 (英訳)						
China's Air Traffic Control and the Security Policy						
1. 研究成果実績の概要						
<p>前年度に引き続き、最近の中国の航空交通管制や「防空識別区」に関する資料・情報等を継続的かつ広範囲に収集し分類整理した。とりわけ、中国側によって台湾海峡上空に設置され2018年から本格的に運用が開始された新航空路 M503 と、これに対する台湾側の反応に関する情報の収集に努めた。また、航空機の運航管理や航空交通管制の関係者の知見や意見を聴取した。さらに、カリフォルニア大学やスタンフォード大学において、現代中国の軍事・安全保障関連資料を収集した。これらの成果を元に、台湾海峡上空の新航空路がもたらす中台間の現状変更に関して、下記論稿を執筆して発表し、中国が軍事安全保障だけでなく領域でも、自国の国益を追求してさらに現状変更を進めていることを明らかにした。こうしたことによって、本研究3年計画の最終年度における研究の総括の準備を推進することができた。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>Continuous research for this subject as below:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Collecting books, articles, information and data on Chinese civil aviation, air traffic control, aeronautical rules and laws and technology. ・Collecting the press reports, documents and information on the international aiway M503 over the Taiwan Strait which became political and military issues between China and Taiwan in 2018. ・Interviewing with the persons concerned about air traffic control and aircraft operation. ・Publishing a thesis " A Change of the Current Situation beweein China and Taiwan: Airway M503 over Taiwan Strait", 'Hogaku Kenkyu', Vol.92 No.1, January 2019. 						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
安田 淳	中台間の現状変更—航空路 M503 をめぐって	慶應義塾大学法学研究会編『法学 研究』	第 92 巻 第 1 号 2019 年 1 月			